

経済広報センター「2016年度 教員の民間企業研修」受け入れ ～横浜市教育委員会より7名の教員が参加

平成28年8月3～4日の2日間、JISAは[一般財団法人経済広報センター](#)が実施する「2016年度 教員の民間企業研修」の受け入れを行い、横浜市教育委員会より派遣された横浜市内の小中学校の教員が参加した。参加者数は7名。

経済広報センターは、将来の日本を担う子どもたちの育成を図るため、「教育界と経済界とのコミュニケーションの促進」に力を入れている。「教員の民間企業研修」はその取り組みの一環として1983年から毎年行っているもので、小・中・高等学校の先生が夏休み期間中に、民間企業で様々な研修を受けるプログラムである。

JISAは5年前より「教員の民間企業研修」受け入れを行ってきている。なお、当業界ではこれまで、(株)NTT データ(特例子会社)、TIS(株)、(株)野村総合研究所などのJISA会員企業が受け入れを行った実績がある。

研修は、「情報化社会を支える情報サービス産業とネットワーク社会における個人情報保護」と題して行った。プログラムの概要は以下のとおりである。

■1日目

社会における情報システムの重要性や、IT社会を創る人材について理解を深めてもらうため、「暮らしや社会における情報システム」「情報サービスの仕事とITエンジニアの職種・役割」についてJISA事務局が説明した。その後、(株)アイネットを訪問し、最新鋭のデータセンターとビジネスプロセスアウトソーシングセンターを見学するとともにレクチャーを受けた。



「暮らしや社会における情報システム」講義

■2 日目

SCSK(株)を訪問し、前半は同社の働き方改革への取組についてレクチャーを受け、後半は子どもたちの「共に創る力」を育む社会貢献活動「CAMP」が紹介された。その後、JISA 事務所に移動し、ネットワーク社会における個人情報保護のあり方についてレクチャーした。次に JISA 審査業務部のプライバシーマーク審査員の指導のもと、参加者が演習として学校を想定した「個人情報保護の特定」と「リスクアセスメント」に取り組み、演習の成果を発表。最後に学校における個人情報保護等についてフリーディスカッションを行った。



作成した個人情報保護の具体策を発表

研修に参加した教員の皆さんには、今回の研修で学んだことを活かし、子どもたちに社会における情報システムの重要性や IT 社会を創る仕事の大切さ・面白さを教えるとともに、IT の利活用による教育の高度化や学校事務の効率化に取り組んでいただくことを期待したい。

また、ご多忙な中、研修の受入に多大なご協力をいただいた(株)アイネット及び SCSK(株)には厚くお礼申し上げます。

(田畑)